

Nagoya University Medical Museum

Small Exhibit 16th

ミニ展示会

漢方の世界



2017 7. 3 MON—2017 12. 27 WED

平日 9:00—20:00 8月—9月は9:00—17:00

土 13:00—17:00

休館日: 日・祝日、8月14—15日、8月25—31日

名古屋大学附属図書館医学部分館 2階入口ホール

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505

入場無料

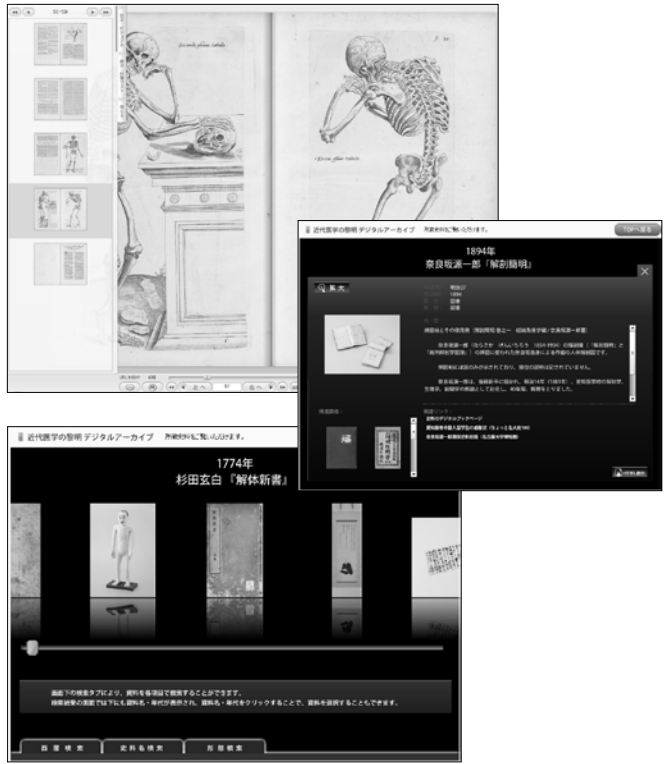
朝鮮を経由して日本に伝えられた中国医学は、わが国の風土や気候等に合わせて、独自に発展を重ね、今日における漢方医学が形成されました。明治政府の漢方廃絶方針により、漢方医学は一旦衰退するものの、高齢化社会による疾病構造の変化やストレス社会、患者のQOL向上への対応として、個人の体質や個人差を踏まえた全人的な治療が見直され、現在では西洋医学と相互に補完するものとして位置づけられています。

「ミニ展示会 漢方の世界」は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵する史料の中から、西洋医学の本格的な導入以前のわが国における伝統的な医療について、漢方医学の原典の一つと言われている「傷寒論」をはじめ、関連する図書、医療器具などを展示公開します。

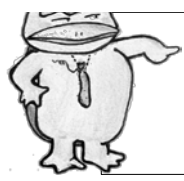


名古屋大学医学部史料室は、附属図書館医学部分館の4階にあります。
 医学部史料室では、名古屋大学の源流である明治4年の名古屋県仮医学校設立前後の史料を中心とし、東海地方の医学の歴史的発展過程、さらに広く医学・医療史に関係する古医書、歴史的医療器具、古写真、絵画等を所蔵しています。

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。



近代医学の黎明デジタルアーカイブ
<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>



資料ご寄贈のお願い
 みなさまがお持ちの医学・医療史に関連する資料がありましたら、ぜひご寄贈いただきますよう、お願いいたします。